



2024年12月16日

各 位

会 社 名 株式会社プロレド・パートナーズ
(コード：7034 東証プライム)
代表者名 代表取締役 佐谷 進
問合せ先 執行役員 CFO 上戸 勇樹
(TEL. 03-6435-6581)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日公表した2024年10月期(2023年11月1日~2024年10月31日)の連結業績について、前期実績値(2022年11月1日~2023年10月31日)との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2024年10月期連結業績の前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (単位：円)
前期実績値(A) (2023年10月期)	2,715	△372	4,378	818	74.95
当期実績値(B) (2024年10月期)	3,205	△90	1,275	319	29.28
増減額(B-A)	489	281	△3,102	△498	-
増減率(%)	18.0	-	△70.9	△60.9	-

2. 差異の理由

① 売上高

主に以下の要因により前期と比較して売上高が増加しております。

- ・ 固定報酬型コンサルティング
特に戦略／デジタル&ハンズオン事業の売上高が当初想定を上回る推移であったこと
- ・ 成果報酬型コンサルティング
コストマネジメント領域では厳しい環境が継続しているものの、当初想定よりは売上高の減少が少ない状況であったこと
- ・ その他
グループ会社であるナレッジリーンの手掛ける事業会社向けコンサルティングに係る売上高が当初想定を上回る推移であったこと

② 営業利益

売上高の増加および継続的なコストの見直しにより、前期と比較して営業利益の赤字幅が縮小いたしました。

③ 経常利益

2024年6月14日付「営業外収益の計上に関するお知らせ」にて開示したとおり、当社グループが出資している投資事業有限責任組合(ドルフィン1号およびインフレクションII号SP)の運用の結果、営業外収益として投資事業組合運用益を計上しておりますが、前期と比較して減少しております。なお、投資事業組合運用益

は、毎期一定の金額が計上されるものではなく、あくまで運用の結果として計上されるものであり、今後も差異が生じるものと想定しております。

④ 親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益のうち、投資事業組合運用益から当社グループによる持分ではない部分を非支配株主に帰属する当期純利益として除外した結果が親会社株主に帰属する当期純利益となっております。

以 上